

羽生市議会議員【無所属】

中島なおき

～羽生を変える力になる！～



子供にツケをまわさない!

平成29年 夏 NO.60



少年野球教室。議長名代でご挨拶！



5月、6月は和光市長選挙と志木市長選挙の選挙マンスリー。和光市は松本たけひろ候補を、志木市は香川たけふみ候補を鈴木県議、井上県議、本庄の吉田市長とともに応援。

羽生駅西口でレポート配布！



小至仏山を横断。至仏山山頂を目指す！



GWに残雪の至仏山へ(22228m)へ。シーズン最後の雪山を満喫しました。



利根川水系連合・総合水防演習にて、総務省職員から衛星電話と自動翻訳アプリ「VoiceTra」の説明を受けました。



一般質問での提案が早速実現！

子供の健全育成と利益を守るため 羽生市でも配布が始まりました！

H28年12月定例会で行った一般質問「離婚後の子供の養育支援について」。視察に行った明石市の事例をもとに訴えた養育費と面会交流の取り決めに関する啓発冊子が羽生市でも窓口で配布されることになりました。たかが冊子。されど冊子。子供の利益を守るための第一歩です。



4月6日。桜咲く中、ラウンドアバウトの開通式が行われました。須影保育園の子供達が花を添えてくれました。

「ゼロからの挑戦日記。」 ほとんど毎日更新中！

中島なおき

検索





6月13日から6月29日まで17日間の日程で平成29年6月定例羽生市議会が開かれました。平成29年度一般会計補正予算歳入、歳出430万円の他、2つの条例改正案、(事務手数料徴収条例の一部を改正する条例、入学準備金貸付条例の一部を改正する条例)財産の取得(災害対応特殊救急車2, 305万8, 000円)、市道路線の認定、廃止など11議案が上程されました。慎重な審査の結果、全ての議案が賛成全員で可決、承認されました。



35回目の一般質問・市政を問う！

公共施設等総合管理計画の盲点に切り込む！

「あれも！これも！」ではなく「あれか！これか！」の選択の時代へ

人口減少時代に突入しています。進む少子化、高齢化。民生費は年々増大。多くの公共施設、各種インフラ設備も老朽化が著しい状況です。高度経済成長期とは異なり、大幅な税収増が見込めない昨今において、わが羽生市も全国の自治体の例に漏れることなく、公共施設の維持、管理やインフラ設備の修繕に負担を強いられつつあります。これまでのように、「あれも！これも！」では次世代に大きなツケを回してしまうこととなります。これからは「あれか！これか！」の選択の時代です。

そこで、6月定例会の一般質問では、H28年3月に作成された「羽生市公共施設等総合管理計画」に一切記載がない「最も利用されない公共施設」ともいわれる市内小中学校プールの今後の方向性について見解を質しました。

Q. 学校プールの今後について

高度経済成長時代に整備された全国の学校プール。しかしながら、学習指導要領では水泳授業の明記はないばかりではなく、泳げなくても教員になれることから、児童、生徒に専門的な授業は行われていないのが現状である。さらに昨今では、学校プールの老朽化が進み、施設の維持、管理が多くの自治体を悩ませている。羽生市の学校プールも、全ての中学校が築30年以上、小学校でも5校が築30年を越えており、これまで、それぞれ多くの修繕を行ってきた。今後もさらなる修繕が見込まれている。そんな中、全国では小中学校における1校1プールの既成概念から脱却し、学校プールの集約化を進める自治体が見られるようになってきた。学校プールの今後について、羽生市教育委員会はどのように考えているのか？



A. 学校教育部長 短い期間で高額の費用がかかるプール施設については、羽生市が定める公共施設等総合管理計画を進めていくうえで、大きな課題と捉えている。しかし、義務教育における水泳指導は必要である。現在14校のうち4校ではプールの設置後が20年前後であり、それらは健全な状態で稼働できている。また、3校では既に改装を行い、その機能を回復している。プール施設が使用に耐えない状態となった学校については、複数校での使用方法により、近くにある学校プールを使用することも考えられる。

今後は、市の財政状況を常に意識し、関係部局と連携を図りながら、プール施設の計画及び、管理運営に努めていく。

重要 POINT 水泳指導は重要！しかしプールの建て替えは困難。だからこそ、今から集約化の準備が必要です。その場しのぎの対応は、子供たちにツケを回すだけ。問題の根っこは決して複雑ではありません。

児童、生徒数とプールの築年数

	児童・生徒数	築年数
北小	413	27年
南小	383	40年
新一小	151	21年
新二小	129	34年
須影小	298	32年
岩瀬小	288	31年
川俣小	116	19年
井泉小	362	32年
手子林小	372	28年
三田ヶ谷小	116	17年
村君小	47	20年
西中	520	53年
東中	509	38年
南中	486	36年

・建設からH28年までの学校プール修繕費総額
約1億円

・現在不具合が生じている学校プールの総修繕費用
約4200万円

(南中プール層漏水修繕困難・東中プール層著しく傾き修繕困難)

・学校プール維持管理費用(小中学校14校)
6月末～8月上旬の授業が行われる約1か月半
H27年度 約1000万円
H28年度 約2000万円

公共施設、インフラ整備のあり方を根本から見直さなければならぬ時代がもうすぐそこに来ています。